

1.麻疹

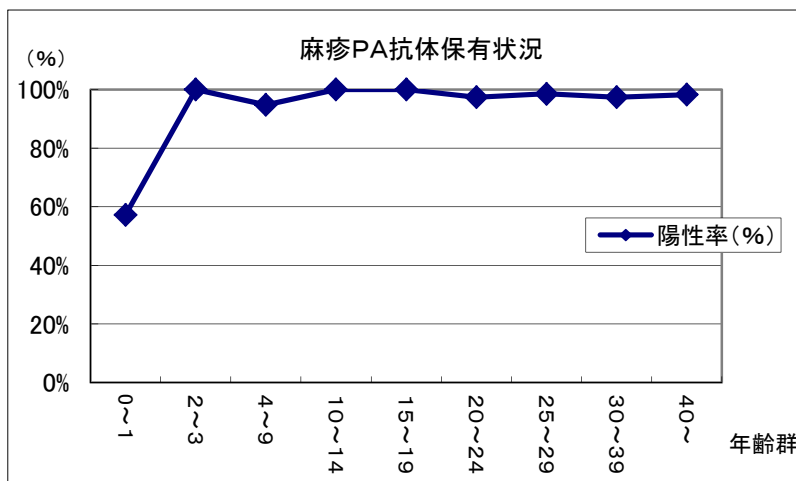
1)検体数

年齢群	0～1	2～3	4～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～39	40～	合計
検体数	21	17	38	44	23	38	66	114	170	531

麻疹抗体は合計531検体について麻疹PA抗体価を測定した。

2)麻疹PA抗体保有状況(%:PA値16倍以上陽性)

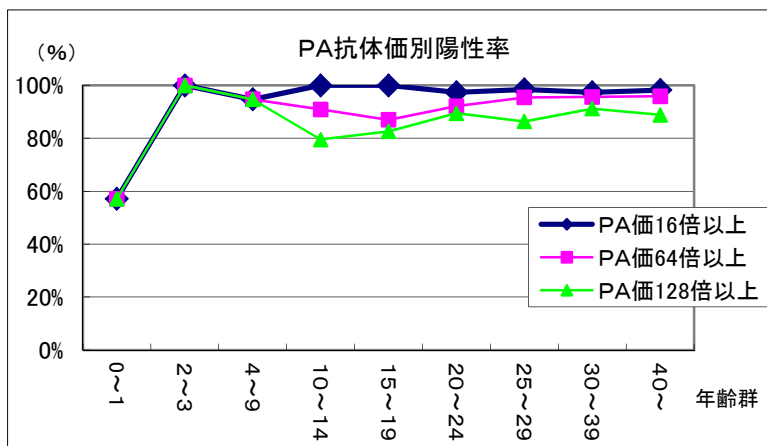
年齢群	0～1	2～3	4～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～39	40～
陽性率(%)	57.1%	100.0%	94.7%	100.0%	100.0%	97.4%	98.5%	97.4%	98.2%



麻疹抗体保有状況は、2歳以上の年齢群で約95%以上を示した。これは予防接種の効果によるものと考えられた。今年度の結果は昨年度とほぼ同様で、麻疹の抗体保有率は高く維持されていると考えられる。今後も予防接種の接種勧奨を進めていくことが重要である。

3)麻疹PA抗体価別陽性率(%)

年齢群	0～1	2～3	4～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～39	40～
PA値16倍以上	57.1%	100.0%	94.7%	100.0%	100.0%	97.4%	98.5%	97.4%	98.2%
PA値64倍以上	57.1%	100.0%	94.7%	90.9%	87.0%	92.1%	95.5%	95.6%	95.9%
PA値128倍以上	57.1%	100.0%	94.7%	79.5%	82.6%	89.5%	86.4%	91.2%	88.8%



抗体価別で見ると、10歳以上の年齢群で抗体陽性(PA16以上)ではあるものの、PA128倍以上である割合は79.5%-91.2%である。2008年-2012年の5年間の時限措置としての中学1年生(13歳)、高校3年生(18歳)の追加接種を推奨していくことが望まれる。

2.風疹

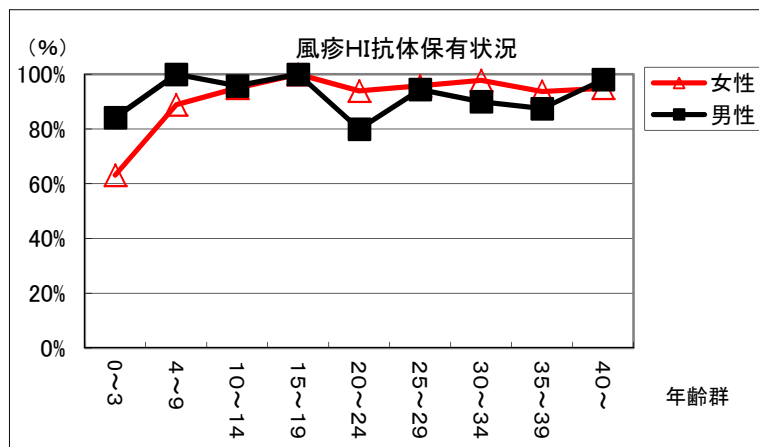
1)検体数

年齢群	0～3	4～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～	合計
女性	19	18	20	11	33	48	46	32	118	345
男性	19	20	24	12	5	18	20	16	52	186
合計	38	38	44	23	38	66	66	48	170	531

風疹は合計531検体について風疹HI抗体価を測定した。

2)風疹HI抗体保有状況(%:HI価8倍以上陽性)

年齢群	0～3	4～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～
女性	63.2%	88.9%	95.0%	100.0%	93.9%	95.8%	97.8%	93.8%	94.9%
男性	84.2%	100.0%	95.8%	100.0%	80.0%	94.4%	90.0%	87.5%	98.1%



風疹抗体保有率は、男女ともに4歳以上の年齢群で80%以上を示したが、2008年4月1日から5年間の期限付きで、麻疹・風疹については中学1年生と高校3年生が定期予防接種対象となっており、この予防接種を受けるようにすることが、今後の予防接種事業を推進していく上で重要であると思われる。